科目ナンバリング	U-LAS41 10002 PJ49								
授業科目名<英訳>	スポーツ実習ＩＢ［アダプテッド・スポーツ］ Sports I B [Adapted sports]			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　江川　達郎				
群	健康・スポーツ科目群			分野(分類)	スポーツ実習			使用言語	日本語
旧群	D群	単位数	1単位	週コマ数	1コマ	授業形態	実習（対面授業科目）		
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木1/木2	配当学年	全回生	対象学生	全学向		

[授業の概要・目的]

スポーツ実施は身体機能の維持・増進に有益であるだけでなく、論理的思考力の増強や社会交流の啓発にもつながる。アダプテッド・スポーツとは、ルールや用具を改良することにより、障害の有無や身体活動能力、年齢にかかわらすスポーツ活動を楽しむことができるように工夫・適合（adapt）されたスポーツのことである。

本授業では、障害等（疾患や怪我等による一時的な障害、その他の心身の不調を含む）のある学生とともにアダプテッド・スポーツを経験することにより、障害等に応じたスポーツの実施方法を学修する。
障害等のある学生が履修しない場合は、様々なアダプテッド・スポーツを経験することにより、自分に合ったスポーツの楽しみ方を見つけ、生涯を通じてスポーツに興じるための心づくり・体づくりを目指す。

[到達目標]

・様々なアダプテッド・スポーツの特徴や楽しみ方を理解する。
・自身の体力や技術を自覚し、自身にadaptしたスポーツの実施方法を見出し、主体的にスポーツに取り組む力を養う。
・障害のある学生に配慮しながらスポーツを実施することができる。

[授業計画と内容]

第1回：講義（アダプテッド・スポーツの理解）
第2回～第14回：
下記の種目を受講人数や受講者の状況に応じて実施する。
・パラスポーツ（ボッチャ・ブラインドサッカー・ゴールボール・フロアホッケーなど）
・フライングディスク種目（アルティメット・ガッツ・ディスクゴルフなど）
・野球系種目（ベースボールファイブ・キックベースボール・ティーボールなど）
・サッカー系種目（アンプティサッカー・フットサル・ハンドボールなど）
・バレーボール系種目（キャッチバレーボール・プレルボール・風船バレー・インディアカなど）
・テニス系種目（ピックルボール・ショートテニス・フロアテニス・タスポニーなど）
・バドミントン系種目（ファミリーバドミントンなど）
・バスケットボール系種目（ポートボールなど）
・ラグビー系種目（タグラグビーなど）
・卓球系種目（卓球バレー・サウンドテーブルテニスなど）
・車椅子種目（車椅子バスケットボール・ハンドボール・卓球など）
・レクリエーション系種目（ゲートボール・ペタンク・スポーツ鬼ごっこ・大縄跳び・ウォークラリー・スポーツ吹矢・モルック・キンボールなど）
第15回：フィードバック　フィードバック回は、個人の質問に対応する。

授業は吉田南グラウンドおよび体育館で実施する。

スポーツ実習ＩＢ［アダプテッド・スポーツ］(2)へ続く↓↓↓

スポーツ実習ＩＢ ［アダプテッド・スポーツ］(2)

※障害等のある学生の履修に関しては、履修希望者と相談のうえ、障害等の特性・程度、体力レベルに応じたスポーツ種目を履修者全員で実施する。

[履修要件]

・障害等のある学生や体力に自信のない学生、従来型スポーツ（テニス、卓球、バレーボール、バスケットボール、サッカー等）に苦手意識のある学生、新しいスポーツを経験してみたい学生の積極的履修を歓迎します。
・障害等のある学生のスポーツ実習に際しては、障害等の状況に合わせた支援・調整を行います。支援を要望する学生は事前に連絡してください。
・スポーツ経験の有無や体力レベルは問いません。
・将来的に障害との関わりが深い医療・福祉、教育、スポーツ、メディア分野の職に携わる可能性がある者やスポーツボランティア、障害者支援ボランティアに興味のある者の履修を推奨します。
・どのようなスポーツでも楽しく行える人を歓迎します。
・準備や後片付けを積極的に行う受講意欲のある者を歓迎します。

[成績評価の方法・観点]

・学習態度（授業参加の積極性、準備・片づけの積極性、ルールの学習・理解）80%および期末小テスト20%で評価する。
・2/3以上の出席を最低要件とする。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
矢部京之助　他 『アダプテッド・スポーツの科学』（市村出版）ISBN:978-4-902109-01-6

[授業外学修（予習・復習）等]

・個々の心身の状態を十分に把握しておくこと。
・世界中にどのようなスポーツあるいは運動遊びが存在しているのかについて探索し、スポーツへの関心を深めておくこと。
・様々なスポーツを観戦し、自身の技能向上に役立てること。

[その他（オフィスアワー等）]

スポーツ実習の履修には保険への加入が必要です。原則として「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）および「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠責）に、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」（学賠）に加入して、授業に参加してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]